アフリカのとんぼ玉 ～トレード・ビーズの世界 ～

アフリカにはかつて、交易のために数多くのとんぼ玉が持ち込まれました。早くは紀元１０世紀頃に当時のマリ帝国に向かって隊商がサハラ砂漠を越えてとんぼ玉を持ち込み、大航海時代以降は、特にベネチア製のとんぼ玉が物々交換のために持ち込まれたのです。

こうしたアフリカのとんぼ玉について、多くのコレクションをお持ちの野田直人さんにお話をうかがいたいと思います。

野田直人さんは、国際協力機構の専門家として、おもにアフリカでお仕事をされていました。2001年から 2005 年まで、西アフリカ、セネガルに滞在した折、現地でとんぼ玉を収集されました。その後もいろいろと勉強をされ、とんぼ玉に関する豊富な知識を持っていらっしゃいます。
野田さんには、タンザニアに滞在された時のエッセイ集、「タンザナイト」などの著書もあります。とんぼ玉のお話の他にも、アフリカの様子など、生き生きとしたお話が聞けるかと思います。

サハラ砂漠以南のアフリカでは、特にマリから、７－１３世紀頃の中近東で作られたトンボ玉、イスラム玉が出てきます。これは当時からマリが交易の中心地で、力のある王国があったためです。当時はもちろんサハラ砂漠を越える隊商によってトンボ玉が持ち込まれたものだと思われます。

マリから出てくるトンボ玉の多くは墓地など、土に埋もれているものが大部分です。そのため状態にばらつきが多く、かなり風化が進んでしまったものも見られます。これは、今まで見た中で最上級の一連です。

◆いちのみや大学講座「アフリカのとんぼ玉－トレード・ビーズの世界」

・**日時**：11 月 13 日（金）午前 10:30～13:00（お話とランチ）（要予約）
・**場所**：織部亭　一宮市島崎一丁目 11-19（tel 0586-76-1993）
　　駐車場は 10 台ぐらいなら OK
・**会費**：　2000 円
（1200 円のランチ代のほか、講師代・事務手数料などを含みます）
・**申し込み**：ホームページから　　・**定員**：25 名
　http://ichinomiyadaigaku.com/r/
　インターネットをご利用でない方は、メールまたは、
　FAX（0586-72-5445）にてお申し込みください。
・**申し込み締切**：開催日前日まで。
　　キャンセルの場合も前日までにお願いします。

いちのみや大学　検索

※お問い合わせは、
有限会社人の森気付け　いちのみや大学事務局 TEL:0586-72-5445
メール：info@ichinomiyadaigaku.com　までお願いします。

携帯の方は
QR コードをご利用ください。

「いちのみや大学」は、市民による、市民のための「大学」です。この一宮の街のあちこちが、まるごとキャンパスです。学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。生涯学習を推進する市民による活動団体です。

いちのみや大学事務局（有限会社人の森内）
~~一宮市大和町宮地花池字中道 4　アートメゾン 103 号~~
tel/fax:0586-72-5445　mail: info@ichinomiyadaigaku.com